

## 開催レポート

イベント名	国内研修旅行
開催日	2024年6月22日(土)～25日(火) ①短縮プラン 6月22日(土)～23日(日) ②基本プラン 6月22日(土)～24日(月) ③延泊プラン 6月22日(土)～25日(火)
場所	湯村温泉、山陰地方(兵庫、鳥取、島根)
会費	①45,000円 ②60,000円 ③75,000円
内容	<6/22>湯村温泉観光交流センター(NPO活動報告・講演会・昼食)→湯村温泉散策・荒湯→98°Cカフェ(懇親会)→夢千代館→朝野家泊 <6/23>浜坂山陰海岸ジオパーク→渡辺水産→鳥取砂丘→昼食→砂の美術館→ホテルモナーク鳥取泊 <6/24>2グループに分かれ行動(①米子城址→米子→足立美術館、②足立美術館)→ツインリーブスホテル出雲泊 <6/25>出雲大社→島根県立古代出雲歴史博物館
参加者	①6名 ②4名 ③6名 計16名

### 6月22日(1日目)

#### 講演会

鳥取コナン空港からバスで湯村温泉の「薬師湯」がある湯村温泉観光交流センターに到着。NPO法人「Work-Hatta」の活動を追った動画を見ながら、心づくしの手作り弁当が絶品でした。

講演会では、兵庫県新温泉町の西村銀三町長よりご挨拶と、「ドラマ『夢千代日記』で有名になった頃の賑わいを取り戻したい。そのために芸者の復活を」との力強いお話がありました。



<写真>西村町長

# キャリア研究会

Career Research Association

今回のハイライトとも言うべき、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の中村すえ子さんの「人が人として、そして、私が私らしく…生きる」と題した講演。中村さんは、1970年代から今日まで新温泉町で一貫して真の介護福祉を追求してこられました。人が最期まで人として尊重されて生きるための介護の仕事に、真摯に取り組まれてきたことが言葉のひとつひとつから伝わってきました。迫力に満ちた講演に参加者一同聴き入りました。 <写真>中村さん→



<写真>左) 中村さんを囲んで新温泉町 右) 心づくしの手作りお弁当

## 湯村温泉散策と交流会

この日宿泊する朝野家社長の案内で湯村温泉を散策。荒湯の湯がき体験は最高に楽しかったです。湯気で暑いのですが、この町は湧き出る 98°Cの温泉によりガス代がかからないそうです。



<写真>左) 朝野社長 右) 荒湯でゆで卵

その後「98°Cカフェ」を貸切の好待遇で、地元新温泉町を活性化させようと頑張っているリーダーの方々と交流しました。グループに分かれてフリーのディスカッション、プレゼンテーションがありました。町への愛と、仕事への熱意があふれていました。



<写真>リーダーの皆さん

# キャリア研究会

*Career Research Association*

---

## 夢千代館・朝野家泊

夢千代館見学は昭和を感じました。広島原爆投下をもたらした別の形での悲劇。日本人として忘れてならない歴史です。

朝野家着。温泉・地熱の洞窟サウナに感動し、宴会には料理長もご挨拶におみえになりました。美味しい料理はもちろんのこと、箸袋、食器まで細部までの心づかいが行き届いたおもてなしに、歓声の声があがりっぱなしでした。

## 6月23日(2日目)

翌朝、朝野家のみなさまからお見送りいただき、大型貸切バスに乗り込みました。



# キャリア研究会

Career Research Association

## ジオパークと鳥取砂丘



新温泉町の山陰海岸ジオパークでは、館長からレクチャーを受け、館内を見学。地質や自然環境についての理解を深め、地球と自然の壮大さを体感しました。

館内スタッフの方によると館長じきじきに説明くださることは普通ないことだそうで、キャリア研究会はすごい。その後、渡辺水産（お土産屋さん）に立ち寄りしました。今回、研修旅行をコーディネートしてくださった岡田さんが新鮮なエビを買ってくださり、みんなでその場で食べたのが楽しかったです。



<写真>岡田さん

そして、大雨の中バスで鳥取砂丘へ。砂丘に出たタイミングで一瞬雨が上がり記念撮影、砂丘の風景を堪能することができました。

砂の美術館はフランス特集、砂のアートを楽しみました。

バスで鳥取に移動。途中、短縮プランの方々とお別れしました。

ホテルモナーク鳥取泊。



※サプライズ・バスガイドさん

予定にはなかったバスガイド、元中学校校長、博識の古川三千代さんによる見事なアナウンスで眠気もとんだ車中でした。古川さん、ありがとうございました。

※大雨の影響により予定していた遊覧船は欠航、白兔海岸・白兔神社は車中から目視。

# キャリア研究会

Career Research Association

6月24日（3日目）

## 米子城址と足立美術館

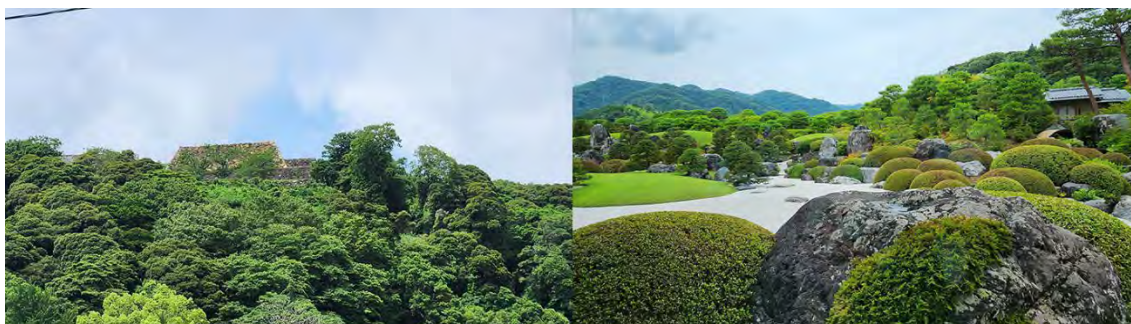
この日は、希望するグループに分かれ行動、電車で移動しました。

- ・米子城址を登り、城跡からの眺めを楽しみました。
- ・足立美術館で日本庭園、日本画の美しさを堪能しました。

足立美術館そのものがひとつのアートのように。横山大観、魯山人、院展を鑑賞、カフェからの日本庭園を楽しみ、充実した時間をすごしました。

基本プランの方とお別れし、延泊プラン組6名は出雲市へ移動。

ツインリーブスホテル出雲泊。居酒屋で最後の夜に乾杯。



<写真>左) 米子城址 右) 足立美術館の日本庭園

6月25日（4日目）

## 出雲大社と古代出雲歴史博物館

出雲大社を参拝し、古代の歴史に触れました。うさぎの像がそこかしこにあり気持ちをなごませてくれました。

昼食は出雲そば、お土産物の並ぶ通りを散策しながら鳥取県立古代出雲歴史博物館へ。

出雲大社の学びを深めました。国宝の銅鐸の数に驚きました。休憩がてら神話のビデオを興味深く鑑賞しました。



# キャリア研究会

*Career Research Association*

---

出雲空港から帰京。

## まとめ

全体を通して、山陰地方の豊かな自然と文化に触れることができました。特に、岡田さんと野木会長が何度も打ち合わせを重ねて企画した1日目と2日目がハイライトであり、キャリア研究会でなければ体験できない貴重な機会となりました。悪天候による予定変更もありましたが、それも大自然ならではの、予期せぬことも十分に楽しみました。

キャリア研究会らしく、メンバーの方々の卓越したマナーにより研修旅行幹事は大助かりでした。

現地の方々、メンバー同士の交流もでき信頼関係が深まりました。

---

## 参加者の声 ※参加者アンケートより抜粋

全文掲載したいところですが、量が多いので一部の掲載にします。

## ご意見・ご感想

- 中村すえ子さんは、虎に翼並みのパワーと深い視座を兼ね備えた方で、日本の底力を感じた。また、なんと言っても地方の町おこしが、なかなか上手くいかないなかで、朝野屋の社長（ガイドを勤めてくださった）の地域を愛する気持ちと、官民を活用した町おこしのあり方は学ぶものがあつたと感じました。
- 岡田さんの鳥取、湯村への思いと、研修旅行参加者に有意義な時間であつて欲しいという思いが伝わってくる研修旅行でした。岡田さんや湯村温泉で出会つた方々に心から感謝します。旅程も綿密に計画されていますが、柔軟で窮屈感はなく、楽しめました。旅行幹事の方々、準備も当日の対応も大変だつたと思います。ありがとうございました。
- 今回の旅行は1泊～3泊といろいろなオプションが用意されていて、各自の希望に合わせて柔軟に選択できてよかつたと思います。その分、事前調査や各方面への手配が大変だつたと思います。幹事の皆様のご尽力に感謝いたします。今回、印象に残つた点は山陰地方の人の人柄です。県民性と言つてもいいかもしれませんが、これは直接現地に行かないとなかなか気が付かなかつた点だつたと思います。

## 特に印象に残ったこと、場所

- 中村さんのお話。介護福祉が当たり前ではなかった時代に、常に介護を受ける人やその家族のことを一番に考えて、福祉の道を切り開いていった。軸が通ったご自身のキャリアの選択に感銘を受けました。会社で同僚にあつく語ったら、福祉の道ではないけれど、仕事へのモチベーションが上がったと話してくれました。  
そして、湯村温泉のお湯の良さと、朝野家の方々のおもてなし。特に料理が美味しく、食べる人に驚きと思わずニッコリしてしまうような細工と器に感激しました。また、豪雨の合間に行くことができた鳥取砂丘。諦めていた砂丘を踏みしめることができ、感動しました。
- 湯村温泉。98度の源泉のパワーがすごいと思いました。科学的にも歴史文化的にも魅力を感じました。
- 湯村温泉、鳥取砂丘  
湯村温泉での朝野家のおもてなしが気遣いにあふれて感動しました。社長の温泉を中心とした生活のご説明は興味を持ってました。朝野家を沢山の方に利用してほしいです。

※所属及び役職は、開催当時のものです。(敬称略)

キャリア研究会についてはこちらから

<https://career-r.com/>